



<p>座間市市民協働課 平成 26.4.28 受付 第 号</p>		<p>相互提案型協働事業実施報告書</p>	
<p>(宛先) 座間市長</p>		<p>26 年 4 月 28 日</p>	
<p>団体 住 所 座間市入谷 4-3011-6 2-914</p>		<p>名 称 ざま災害ボランティアネットワーク</p>	
<p>代表者氏名 濱田 政宏</p>			
<p>市 担 当 課 安全防災課</p>		<p>所 属 長 堤 満 博</p>	
<p>所 属 長 堤 満 博</p>			
<p>次のとおり報告します。</p>			
1 事 業 名	市民防災啓発事業		
2 事 業 形 態	<input type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市提案協働事業		
3 選 考 年 度	24 年度選考 ( 25 年度実施)		
4 報 告 期 間	25 年 4 月 日 から 26 年 3 月 日 まで		
5 事 業 費	406,898 円 (うち座間市支出分 270,000 円)		
6 事 業 概 要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>当事業は協働事業3年目の最終の事業となった。 市民向けのAコース 2回、自治会・自主防災会役員向けのBコースを2回計画したがBコースの1回は大雪のために中止となった。Dコースについては9月、3月と2回に分けて実施でき延べ約100名の参加者を得ることが出来た。 職員向け研修はCコースを2回、実技コースであるEコースを2回計画したが、10月のE-2は大雨のために中止となったが、2月に延期して開催することができた。 全体的に講座自体の評価は高かったように聞いているが、市民へのPR方法が弱く講座を開催していることを知らない市民が多くあった。このあたりの取り組みが今後の課題だと考える。 職員研修については、業務の都合と称して参加しない職員がいることに疑問を感じた。まして、半年も前からスケジュールが明示されているのに調整が出来ないというのは、災害対応への意識が低いのではないかと感じた。今後の課題であると思う。</p>		
7 添 付 資 料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input checked="" type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ( 新聞記事 )		

相互提案型協働事業評価シート

事業名	市民防災啓発事業
-----	----------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	<p>所期の目的は、十分達成できましたか。</p> <p>自治会役員・自主防災会役員向けの講座が1講座中止となったがそれ以外は所期の目的は達成したと考える。</p>	<p>過去2ヶ年に引き続き、市民向けの自助、共助の重要性を説いた講座、また職員には避難所開設に係る研修を実施しました。最終年は、新たに図上訓練をメニューに取り入れるなど充実が図れたものと思います。</p>
事業成果・効果	<p>事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。</p> <p>この講座自体の効果が速効性を持って地域に現れるかどうかは「災害」が発生しないとわからないが、並行して取り組んだ「座間市いっせい防災行動訓練（シェイクアウト）」等との相乗効果でかなりの意識改革は進んだと思っている。</p> <p>★その一つが26年2月の大雪の時の地域によって「日ごろからのつながり」が見ることが出来た。これをどのようにとらえるか一つの指標になったと考える。</p> <p>★協働事業がきっかけとなって座間市が取り組んだ「地域防災推進員」の制度がゆっくりであるが進化してきていることを感じた。たとえば、25年度防災訓練の災害食の準備などは地域防災推進員の活躍でかなり訓練の印象が変わったと思っている。</p> <p>★地域防災推進員が地区自連内で独自の「講座」を企画してZSVNへ支援依頼があったり、市民レクの会場や、美化デイの中で災害の意識向上の活動が出てきた。</p> <p>★東中+ひばりが丘地区自連などがタイアップして避難所などへの具体的な取り組みもあった。</p> <p>★職員研修を通じて、ZSVNのメンバーが職員と顔見知りになり挨拶を交わすことが出来るようになった。</p>	<p>受講人数そのものは、昨年度と大差はなかったが、学校、保育園、PTAなどの教育関係者の参加があるなど、関係団体との意識の共有が図れてきています。</p> <p>また、本受講者が所属地域や団体へ内容を持ち帰り、その反応としてさま災害ボランティアネットワークへの講座等の依頼が増えていると聞いている。これも、間接的にせよ、講座開催による波及成果・効果と考えます。</p>

## 2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	十分に相互理解が出来た。 この事業のみならず、シェイクアウト事業や防災資機材庫の点検業務などへの活動の発展につながったと共に、座間市の災害対策の強み、弱みも十分に把握することが出来た。	平成24年度の座間市地域防災計画の修正で、本事業を明確に位置づけることにより、 さらに共通の認識が深まったと思います。
事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	大雨や大雪で講座が出来ないケースがあったが、中止の連絡または、延期の場合の会場の調整など情報交換しながら円滑に進めることが出来た。	定期的に打ち合わせを行うことにより、双方の意志疎通が図れたため、実施にあたっては大きな混乱を招くことなく進行できたと思います。
対等な関係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	十分にできた。 しかし、訓練資器材の置き場について場所の確保の要請を行ったが具体的な解決策がないままになっている。今後も検討を行い改革を続けたいと考える。	3年間の協働事業実施期間を通して、話し合いを重ねることにより、対等な立場での協議が出来たと考えます。
相互理解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	十分に築くことが出来た。	立場による意見の相違もあったが、補える関係は築けたものと考えます。 今後、意見の相違部分については調整を図っていきたい。

## 3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果すことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割)</p> <p>講座の企画、シナリオの作成、資料の収集、整理、配布資料の準備、講座の進行</p> <p>訓練資器材の準備、使用後の資器材のメンテナンス</p> <p>ホームページ、フェイスブックなどの媒体を使って講座のPR、受講者募集活動</p> <p>実技講座のインストラクターの召集手配</p>	<p>(市の役割)</p> <p>会場の確保と借用手続きの実施。</p> <p>講座並びに体験講座の開催についての「広報ざま」「座間市HP」の事業広告の掲載、「市内公共施設」等への資料の配布、ポスターの掲示。回覧の配布手続、</p> <p>広報用印刷物の印刷、製本、配布準備作業。</p> <p>市職員研修にかかわる庁内関係部署への参加指示の発令手続きと予算措置。</p>

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	適正であったと考えます。
	<p>人事異動があつて当初は心配したが、担当課内の協力で乗り越えて当初分担した役割は完全に果たして下さったと感じている。</p> <p>26年度に向けてさらなる取り組みの充実を相談していたがまた、人事異動で最初からの取り組みとなるのが残念であつた。</p>	
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	役割分担は果たせたと思います。
	<p>単独の場合には会場の確保や訓練資器材の借用、運搬などに支障が出るので協働以外にはこのような取り組みはできないと考える。</p>	
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	<p>行政単独の講座では、市民に自助、共助の考えを理解してもらうことはなかなか難しいが、市民目線からのアプローチ手法は効果的であつたと思います。</p> <p>また、職員研修も外部団体を加えることにより、一定の緊張感をもって実施することが出来た。</p>
	<p>3年前の状況よりは相当の進歩がみられる。しかし、市民への訴求対策がほとんど進まない課題がある。市民協働課の自治会に対する対応の弱さを感じている。マンションがこれだけ増加しているのに管理組合を交渉の窓口として完全に受け入れることが出来ない点は減災・災害対応の施策を推進するための大きな障壁だと感じた。早急な改善を打ち出してほしい。</p>	

#### 4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え)</p> <p>本事業は、3年を終わり今後は協働事業としては実施が出来ないことになっている。しかし、ここまで進んできた成果をこれで終わりにしてしまうのはもったいないと感じる。行政当局の今後の取り組みに関心を持っている。長い間お疲れ様でした。</p>	<p>(市の考え)</p> <p>相互提案型協働事業としては、本年度をもって終了しますが、防災・減災知識の普及は、座間市地域防災計画にも位置づけられていること また、現行の形で一定の効果・成果が得られたと理解しているので、今後も協働型事業として継続していきたいと考えています。</p>